

平成 21 年度第 2 回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会

会議録（要旨）

1、日 時：平成 22 年 2 月 22 日（月）13：30～15：30

2、場 所：熊本市役所別館 駐輪場 8 階会議室

3、出席委員：（敬称略）15 名

小堀委員長、伊東龍一、今村克彦、岩下直昭、岩永邦子、亀井創太郎、北野隆、北村直登

佐々木信文、田中哲雄、松本寿三郎、富田紘一、服部英雄、山尾敏隆、吉丸良治

※欠席委員：高瀬哲郎

4、審議

【**審議内容**】：委員会の審議事項及び進め方について（意見交換、質疑応答）

（1）委員意見まとめ

○保存管理計画の見直しに関すること

- ・熊本城全体を今後、どのように保存・管理・活用していくかが重要である。
- ・保存管理計画（基本構想）と復元整備計画（活用）は同時並行で審議する必要がある。
- ・保存管理計画改訂は、国の助言指導が必要となる。別組織を立上げる必要があるのでは。
- ・保存管理計画改訂は、教育委員会が主体として取りまとめること。

○復元整備計画の見直しに関すること

- ・H9 復元整備計画の問題点、見直す項目の情報がほしい。
- ・今後の復元整備のあり方・進め方も専門部会で審議する必要があるのではないか。
- ・熊本城の整備は城全体のマスタープランが無い。その場限りの整備なので先に進まない。
- ・観光振興、ソフト事業などの論議は、対象区域を絞って城内のことに限って論議したほうが良い。
- ・お城とその周辺に限っての案内標識やソフト事業等の審議はあり得るのではないか。

○その他

- ・活用についても専門部会で審議する必要があるのではないか。
- ・フリースペースは話が広がり過ぎて収拾がつかない。復元整備計画をたたき台としたらどうか。
- ・復元した建物を今後どのように活用するか検討する必要がある。
- ・入園者を今後維持していくための活用を考える必要がある。
- ・その他、入園者の立場に立った身近な意見を頂いた。

(2) 委員長まとめ

1、各委員へ資料提供を行う。

①熊本城保存管理計画策定報告書（昭和57年度策定） → 今回、配布

②熊本城復元整備計画書（平成9年度策定） → 平成21年8月、第1回委員会で配布済

2、熊本城保存管理計画と熊本城復元整備計画の改訂に向けた事務局案を提示すること。

→ 各委員意見まとめ（今回及び次回委員会で将来の審議事項をまとめる）

3、第Ⅱ期復元整備に伴う審議案件は、次回以降も継続審議とする。